

東日本大震災から 14 年 ～福島は今を見つめて～

◆**福島県 避難状況** 原発事故発生後、12 の市町村に避難指示が出され、住民は県内外への避難を余儀なくされました。2012 年 5 月時点での避難者は約 16 万人、2025 年 5 月時点の避難者は約 2 万 4 千人で、事故当時の約 15%に減少しました。しかし、実際の避難者はもっと多いと思われます。現在も、7 市町村（南相馬市、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）の一部が**帰還困難区域**に設定されています。その中に定められた**特定復興再生拠点区域**では、避難指示が解除され、居住することが可能となっています。

9 月 20 日～21 日の 2 日間「福島視察ツアー」を開催し、組合員 2 名と職員 1 名が参加しました。
みやぎ生協・コープふくしまの池町様と黒澤様の案内で、津波と原発事故の被害が甚大だった太平洋沿岸地域を視察し、震災から 14 年経った「福島は今」を肌で感じる事ができました。



富岡町～双葉町～浪江町の景色

夜ノ森桜並木



桜の名所として知られる富岡町の夜ノ森桜並木は、2023 年 4 月 1 日、ようやく避難指示が解除され、付近の住民が再び居住することが可能になりました。
車の往来は時折あるものの、公園や民家には人の気配がなく、草がのび、原発事故の影響が今も続いていると感じました。

時が止まったような町



通行を制限する**帰還困難区域**のバリケードがあちこちにあり、故郷に帰還したくてもできない人々がいることを実感しました。
旧双葉町役場の建物は当時のまま残されており、地震発生時刻で止まったままの時計や、駐輪場には多くの自転車がありました。
町には、崩れたり、つたに覆われた建物や看板が多数残っており、あの日から時が止まっているようでした。

双葉駅の周辺には**復興公営住宅**が整備され、現在 3 分の 2 が入居されているそうです。少しずつ町に人が戻ってきている様子も見ることができました。

東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

地震・津波・原発事故という複合災害の実態や、復興に向けた歩みを学びました。
写真は、除染した土を入れる「フレコンバック」です。福島第一原発周辺エリアに整備された中間貯蔵施設に搬入された除染土は、2025 年 7 月末時点で約 1,411 万 m³（東京ドーム約 11 個分）になっています。
2045 年 3 月までに、福島県外で最終処分をすることが法律で定められていますが、先行きは不透明な状況です。



震災遺構 請戸小学校(浪江町)

校舎の中は、津波で大きく損傷しており、津波の脅威を痛感しました。当時通っていた生徒・先生はすぐに大平山を目指し、全員無事でしたが、請戸地区は壊滅したことを知りました。
また、原発事故によって救援が入れなくなり、助かるはずの命が失われた悲惨な現実も、展示を通して知ることができました。



相馬市松川浦



津波の恐怖と大切な人を失った方々の悲しみを痛感しました。慰霊碑に手を合わせ、亡くなった方々を追悼しました。

相馬復興市民市場・浜の駅松川浦を訪れ、参加者は地元産品のお買物で、被災地を応援しました。
現在、漁協などの施設はすべて建て替わり、釣りや買い物を楽しむ人が多く見られました。町に住民が戻り、活気を感しました。

鳥取県生協では、東日本大震災の被災地に思いを寄せ、記憶を風化させないよう、これからもみやぎ生協・コープふくしまのみなさまと一緒に取り組みを継続していきます。

～福島視察 参加者の感想～

○帰還困難区域で、草木に囲まれた家がさびしく建っていました。その家の方のお気持ちを、そして家人を待っているその家の声が聞こえるようでした。また、遠くに見える福島第一原発の何機もの無人操作クレーンもいつになったら解決するのか？と先のことを想像しました。原発事故の重大さを改めて感じました。視察を終えて、私が今まで何も知らなかったこと、現地へ行って少しでも体感できたこと、少しでも良い方向へ進んでいく為、私に出来ることを見つけていこうと思っています。

○原発建設計画の中で、断固たる災害への危機意識を持ち合わせていなかったことに、とても悔しい思いがしました。災害からの復旧にはとても長い年月と労力を要すること、例えば津波によって作れなくなった田の復旧に、人力によるがれきの撤去や土地の改良など、何年もかかってやっと作れるようになったことを学びました。災害への危機意識を持って、防災の訓練や備えを十分なほどするなどして、命を守ることが重要であることも学びました。



☆平和川柳 入賞作品紹介☆

5月号の平和通信などで募集した「平和川柳」に、34名（83作品）の方にご応募いただきました。

ありがとうございました！

みなさんからお寄せいただいた川柳は、8月17日に開催した「平和のための戦争展」

にて展示を行い、来場者に投票していただきました。入賞作品が決まりましたので、ご紹介します。



- ・ありません「正義の戦争」なんてもの
- ・使おうよ 武力じゃなくて 言葉と心
- ・平和守り あふれる笑顔 子どもたちへ

平和募金

平和募金は、平和について学び、考え、広げて、次の世代へ語り伝えていく活動を行うために活用させていただいております。

募金番号	募金金額（一口）
1523	100円

折り鶴作成 参加者募集



来年の「ピースアクション in ヒロシマ」で捧げる千羽鶴の作成に向けて、鶴を折っていただける方を募集します！**2025年10月27日～3月6日**の期間はいつでも、注文番号**17906**と**セット数（1セット50羽）**をご記入いただくとお申し込みができます。

「折り鶴糸通し作業」への申し込みは、通年行っています。**17833**と**セット数（1セット100羽）**をご記入ください。**50羽×2本の束**を作成していただきます。

お申込みいただくと、3週間以内にセットをお届けします。ご協力よろしくお願いします！

ユニセフ募金

世界各地のユニセフ活動に利用される『一般募金』と、国や地域を指定して活用される『指定募金』に分けて送金しています。

募金番号	募金金額（一口）
1522	100円

くらし助け合いの会



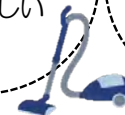
組合員同士がくらしを支え合う **有償ボランティア活動** です！

ちょっとしたくらしの困りごとに手助けをし合う仕組みとして広がってきた「くらし助け合いの会」。お手伝いしてほしい組合員さんをお手伝いしたい組合員さんが援助を行う活動が『くらし助け合いの会』です。

食事の準備を手伝ってほしい



片付けや掃除をしてほしい



お墓掃除をお願いしたい



犬の散歩をしてほしい



高いところの電球を変えてほしい



お手伝いしたい人

～都合の良いときに、得意なことで活動～

活動費 **900** 円 / 1時間

（時間外+200円、屋外+200円）

活動時間 **8:00～17:00**

（月～金曜日、土日祝祭日は時間外）



お手伝いしてほしい人

～くらしの困り事を支援してもらえ～

利用費 **1000** 円 / 1時間

（時間外+200円、屋外+200円）

利用時間 **8:00～17:00**

（月～金曜日、土日祝祭日は時間外）

7月～9月のご利用内容

屋外のお手伝い

“庭の草取り”“花の手入れ”
“お墓・開山堂のお盆の準備、片付け”
“ゴミ捨て”

など

屋内のお手伝い

“お部屋の片づけ”
“野菜カットなど料理の下準備”
“押し入れ”“お布団の整理”
“お風呂掃除”
“水槽の掃除・水替え”

など

上記の内容以外にもお手伝いをさせていただいております。ぜひ下記までご連絡ください。

くらし助け合い募金

『くらし助け合い募金』は、組合員全員参加の **応援募金** です。組合員どうしが共に学び合い、自主的なくらしの相互援助活動が充実するようご協力をお願いしています。



注文番号	募金金額（一口）
1520	100円

注文書の“4～6ケタ注文欄”に、注文番号と口数をご記入ください。

お問い合わせ先 **090-3172-1432** 『くらし助け合いの会』事務局（月～金 9:00～17:00）